

第84回 二十五三昧会

仏教の死生観

10月31日(日)

予約不要
参加自由

会場本堂 講演会：14時～16時

講師：平田信活（住職）

私が僧侶として檀家参りを始めた31年前にはすでに「葬式仏教」という言葉がありました。

本来、生きている間に必要な教えである仏教が、亡くなった後の葬儀や法事だけにしか登場せず、形骸化してしまった姿を揶揄しての表現ですが、僧侶になる前の私もその程度の認識であったことを告白しておきます。しかし、修行に行き、早朝にたたき起こされ、坐禅・読経・作務、わずかな



実は大工仕事や山仕事が大好きな住職

食事をササッといただいて、ご祈祷やら法要やら、全て決められた作法に従って緊張感を持ってつとめ、余語翠巖老師の提唱に目からうろこの連続の日々の中で「これは面白い」と心から思ったのでした。先代：金子正恵大和尚のバックアップを受け乍ら、大学で仏教学を聴講し、坐禅会や勉強会、そして「二十五三昧会」など「どう生きどう死ぬか」について仏教的に説いてきたつもりではありますが、あまり伝えられていないのが現状です。そこで今回は「仏教の死生観」と題して、インドの仏教以前の考え方、お釈迦様、曹洞宗 道元禅師の考え方を順次紹介し、混迷のこの時代をどう生きどう死ぬかを皆さまと共に考えていきたいと思っております。（住職記）

◆参加無料・予約なし! どなたでも自由に参加できます! 詳しくはお寺までご連絡ください。(平日10時～16時)

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203

〒666-0121 兵庫県川西市平野1-33-14 TEL/FAX072-793-0203 mail:vyku11976@nike.eonet.ne.jp

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または [川西市岡本寺](#) [🔍 検索](#)